

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	茨城大学	個人・グループ名	大内 朗	作品名	スニーカー好きのシューズラック
-----	------	----------	------	-----	-----------------

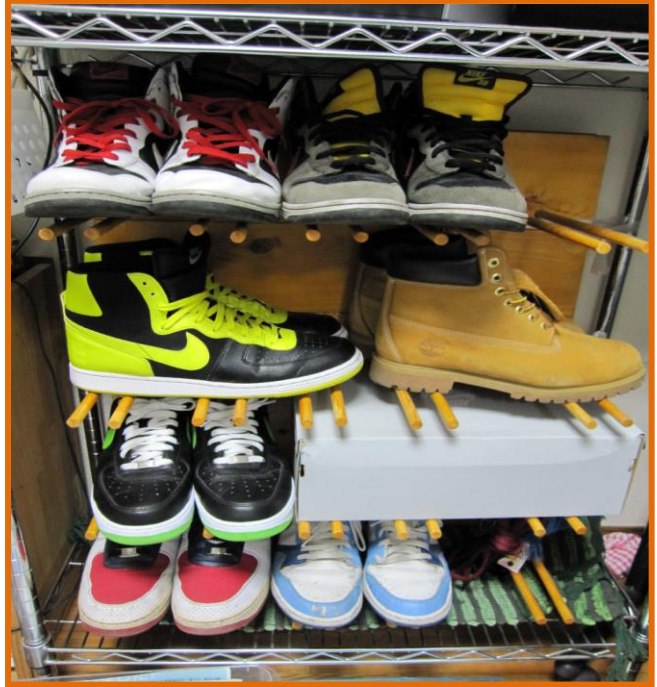
**製作の動機**  
 私は買い物に行くときは必ずと言っていいほど靴屋に立ち寄ります。買う気がなくても、デザイン、色、履き心地などがよければ買ってしまふほど、靴が好きです。その結果、家には靴の置き場がなくなっていました。そこで今回靴の置き場を確保し、それと同時に私は靴を眺めるのも好きなので、いつでも眺められ、あたかも靴を展示しているかのようなシューズラックが欲しいと思い製作しました。

**利用方法 (第1図・第3図参照)**

- ・第1図・第3図のように靴を置きます。お気に入りのデザインの靴はよく見えるように置くとスニーカー好きにはたまらないと思います。
- ・作品は壁に立てかけて使用します。(私は家で使っているスチールラックの下段の棚を今回製作したシューズラックが入る大きさに調節してそこにはめ込んで使用しています。)

**作品の特徴・工夫点**

- ・今回使用した木材は、600×120×38mmのSPF材を5枚と直径12mm、長さ300mmの丸棒を40本です。(第2図参照)
- ・予算も2500円を切り、安価に製作を行えました。
- ・SPF材はきわはぎにより接合し、そこに直径12mmの穴を開け、丸棒をボンドで接合し完成のため釘を一切使用しないで製作しました。
- ・靴がよく見えるよう棚状の形状にしないことでシューズラックが目立ちすぎず、靴を展示しているかのように置けるといふ本作品の特徴をより表しました。(第1図・第3図参照)
- ・作品の3段目はハイカット(高さがある靴)の靴が入るように高く作ってあります。(第1図・第2図参照)
- ・本作品は部屋の中で使用するため塗装に色つきの油性ニス(チーク色)を使用し、部屋のフローリングと同じ色にすることで、部屋においても不自然でない色合いになりました。



第1図 作品を実際に使用してみる



第2図 部品図



第3図 完成した作品とその使用法